



～「およそ300隻の船影」鰯泊ノ十の移植風景から～  
(町民アンケート特別号)

平成14年 9月号

広報 

# いしい富士

No.195

# 町民アンケート集計結果

実施日：平成14年5月8日

回収日：平成14年5月20日

5月8日に実施いたしました町民アンケートについて、このほど取り纏めが終わりましたので、広報特集号という形で皆さんにお知らせいたします。

この度の町民アンケート回収率は57.2%でした。お忙しい中にも関わらず、多数ご意見を頂き有難うございました。

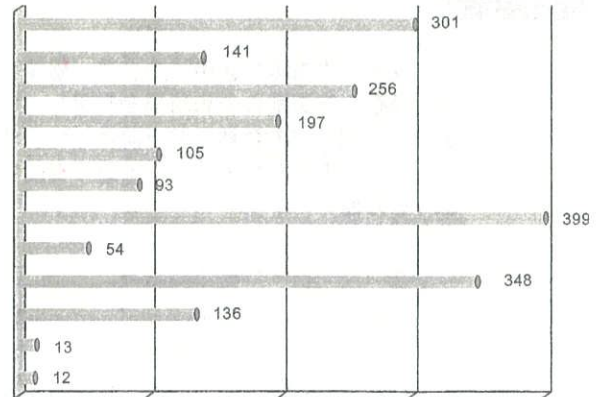
年 代	性 別		合 計	年 代 比 率
	男	女		
20歳代	22	21	43	6%
30歳代	30	49	79	10%
40歳代	77	52	129	17%
50歳代	87	56	143	18%
60歳代	119	44	163	21%
70歳代	127	45	172	22%
80歳以上	35	16	51	7%
合 計	497	283	780	100%

# I 利尻富士町の土地利用について

## (問1)

将来的な展望に立ち、町では土地利用に関するどの分野に力を入れるべきだと思いますか？（次の中から3つまで選んでください）

1. 住宅地・住環境整備
2. 公園緑地や広場の整備
3. 自然環境の保全・創出
4. 道路等交通整備
5. スポーツ・レクリエーション施設の整備
6. 文化・教育施設の整備
7. 医療・福祉施設の整備充実
8. 商業の振興
9. 水産業の振興
10. 観光の振興
11. 農業の振興
12. その他

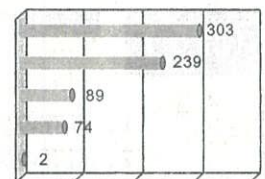


- |                |     |
|----------------|-----|
| ① 医療・福祉施設の整備充実 | 19% |
| ② 水産業の振興       | 17% |
| ③ 住宅地・住環境整備    | 15% |

## (問2)

森林や自然海岸など、現在残されている自然的土地利用について今後どのようにしていけば良いと思いますか？

1. 貴重な自然環境として利用を制限し、保護・保全していく
2. 現状を維持しながら特色を活かし一部観光やレクリエーション地等として活用する
3. 可能な範囲で開発をすすめて宅地等の都市的な土地利用を進める
4. よくわからない
5. その他

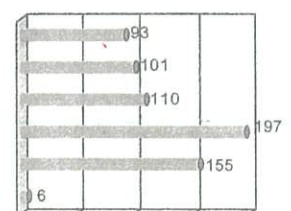


- |   |     |
|---|-----|
| ① 貴重な自然環境として利用を制限し、保護・保全していく            | 43% |
| ② 現状を維持しながら特色を活かし一部観光やレクリエーション地等として活用する | 34% |
| ③ 可能な範囲で開発をすすめて宅地等の都市的な土地利用を進める         | 12% |

## (問3)

現在の自然環境を維持・保全するうえで、今後町ではどのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか？

1. 条例など法指定による土地利用規制を強化する
2. 公有地化を推進し、保全する
3. 土地所有者や事業者と保全協定などを結ぶ
4. 環境保全に関し住民意識の高揚や啓発のためのパンフレットの作成、PR活動等を行う
5. よくわからない
6. その他

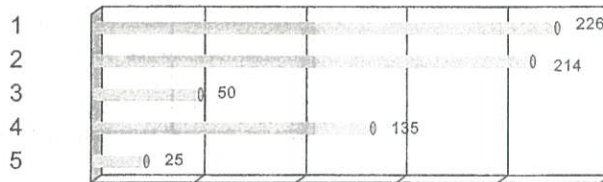


- ① 環境保全に関し住民意識の高揚や啓発のためのパンフレットの作成、PR活動等を行う 30%
- ② よくわからない 23%
- ③ 土地所有者や事業者と保全協定などを結ぶ 16%

**(問4)**

住宅地について、今後どのようにしていけば良いと思いますか？

1. 既存の市街地の住環境の改善・整備など質的な面を充実させる
2. 既存の市街地の未利用地を利用し、宅地を増やしていく
3. 市街地周辺の森林などを開発して、宅地を増やしていく
4. 住宅の中高層化等により土地の有効利用を図ると共に公園や公共施設用地を確保していく
5. その他



- ① 既存の市街地の住環境の改善・整備など質的な面を充実させる 35%
- ② 既存の市街地の未利用地を利用し、宅地を増やしていく 33%
- ③ 住宅の中高層化等により土地の有効利用を図ると共に公園や公共施設用地を確保していく 21%

**(問5)**

商業地について今後どのようにしていけば良いと思いますか？

1. 既存の商業地の環境改善や整備など質的な面を充実させる
2. 既存の商業地の高層化や集積施設等により土地の有効利用を図ると共に、道路や公園などの公共空間を生み出していく
3. 現状のままでよい
4. その他



- ① 既存の商業地の環境改善や整備など質的な面を充実させる 39%
- ② 既存の商業地の高層化や集積施設等により土地の有効利用を図ると共に道路や公園等の公共空間を生み出していく 35%
- ③ 現状のままでよい 24%

## II 将来の産業振興について

### (問1)

将来の水産業の振興について、どのようなことが考えられると思いますか？（次の中から2つまで選んでください）

1. 航空便を使った流通の改善や直販事業などの開拓推進
2. 観光と密接に結びつけるような施策の展開
3. 増養殖型・資源管理型漁業の積極的な推進
4. 新しい技術や情報活用型漁業など近代化の推進
5. 他の地方から後継者を呼び込めるような施策の推進
6. 漁港や船揚場・背面施設などの整備促進
7. 漁業補償制度の創設など経営安定化対策の推進
8. その他

0	211
0	216
0	289
0	156
0	111
0	91
0	205
0	10

- |                            |     |
|----------------------------|-----|
| ① 増養殖型・資源管理型漁業の積極的な推進      | 22% |
| ② 観光と密接に結びつけるような施策の展開      | 17% |
| ③ 航空便を使った流通の改善や直販事業などの開拓推進 | 16% |

### (問2)

将来の観光産業を見据え、現在進めなければならないと思われることは何だと思えますか？（次の中から3つまで選んでください）

1. 自然環境の保護を積極的に進め、景勝観光地として保全に努める
2. 多くの地場産品（魚介類）を地元で提供できる消費・販売ルートの基盤づくり
3. 漁業体験や自然体験など子供も体験できるような施設・仕組みづくり
4. 行政・住民・民間事業者が一体となり、振興意識の強化体制づくり
5. 多くの人が将来を話し合える機会の提供
6. 水産業を中心とした都市部でのPRイベントの参加・開催
7. 宿泊施設の拡大
8. イベントなどで人を呼べるような新しい企画の立案
9. 冬季観光や外国人観光客を誘致できる体制づくり
10. その他

0	446
0	392
0	253
0	198
0	117
0	162
0	115
0	154
0	103
0	17

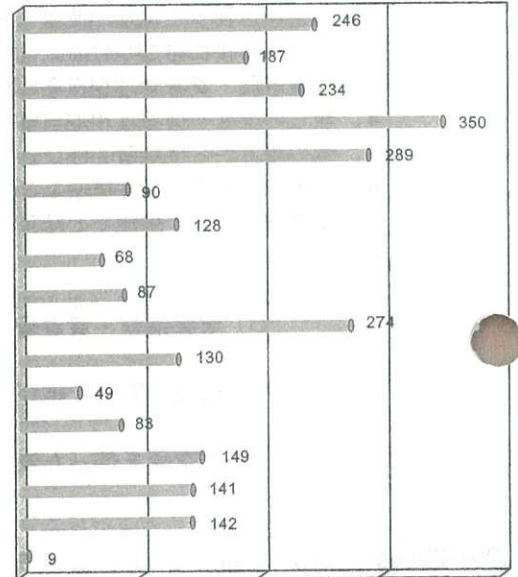
- |                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ① 自然環境の保護を積極的に進め、景勝観光地として保全に努める       | 23% |
| ② 多くの地場産品（魚介類）を地元で提供できる消費・販売ルートの基盤づくり | 20% |
| ③ 漁業体験や自然体験など子供も体験できるような施設・仕組みづくり     | 13% |

### Ⅲ まちづくりについて

#### (問1)

今後、まちづくりとして主に取り組むべきだと思うことは何だとお考えになりますか？  
(次の中から4つまで選んでください)

1. 市街地や商店街の再開発による新しいまちづくり
2. 公営住宅の整備や宅地造成による住環境の推進
3. 子供が安心して遊べる公園施設や屋内施設の整備
4. 高齢者が生きがいをもてる機会の提供や施設の整備
5. 雇用の場が拡大されるような施設・施策の推進
6. 花をテーマにしたまちづくりの推進
7. 体験学習などによる子供の郷土愛や情操教育の充実
8. コンピュータなど時代に対応した情報化の促進
9. 自然環境保護を中心としたボランティア活動の推進
10. 漁業を中心とした新しい施策の展開
11. 行政と住民が一体となった事業の展開
12. 新しいイベントやスポーツなどの企画立案
13. 人材育成・活用による地域ボランティアの推進
14. 親が安心して働ける施設（学童保育など）の整備
15. 住民ニーズに合った行政対応の強化
16. 災害に強いまちづくりの推進
17. その他

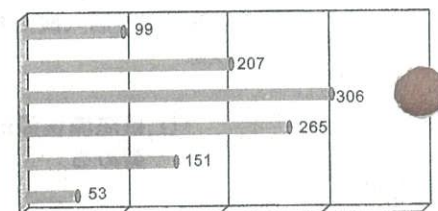


- |                           |     |
|---------------------------|-----|
| ① 高齢者が生きがいをもてる機会の提供や施設の整備 | 13% |
| ② 雇用の場が拡大されるような施設・施策の推進   | 11% |
| ③ 漁業を中心とした新しい施策の展開        | 10% |

#### (問2)

まちづくり（町政）への参加方法についてどのようにお考えですか？（次の中から2つまで選んでください）

1. 行政側で提案する施設建設などのプロジェクトに直接参加したい
2. 住民自らが考える自主的な集まりや組織に参加したい
3. 自由に意見を述べられる説明会や懇談会なら参加したい
4. 投書やアンケートなどで間接的に意思表示したい
5. 役場や議会、専門部会に一任する
6. 関心がない



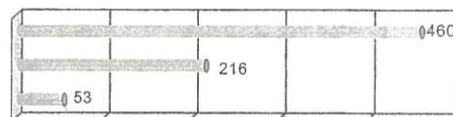
- |                             |     |
|-----------------------------|-----|
| ① 自由に意見を述べられる説明会や懇談会なら参加したい | 28% |
| ② 投書やアンケートなどで間接的に意思表示したい    | 24% |
| ③ 住民自らが考える自主的な集まりや組織に参加したい  | 19% |

## IV 地域の情報化について

### (問1)

ご家庭あるいは個人でお持ちのパソコンはありますか？

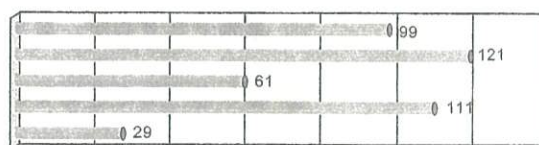
1. ない 63%
2. ある 30%
3. 今はないが、ほしいと思っている 7%



### (問2)

あると答えた方にお聞きします。そのパソコンの主な使い道は何ですか？（複数回答可）

1. 電子メールのやりとり
2. インターネットでの情報収集やショッピング
3. 年賀状などの作成
4. 仕事に活用
5. その他

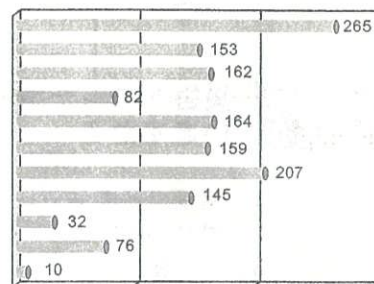


- ① インターネットでの情報収集やショッピング 29%
- ② 仕事に活用 26%
- ③ 電子メールのやりとり 24%

### (問3)

町で今後、パソコンなどを利用した情報化をすすめるとしたらどのようなことを望みますか？（複数回答可）

1. 住民に役立つ情報や意見を述べるようなホームページの開設
2. どこでも利用できるパソコンの設置
3. 通信速度の速い低コスト回線の布設
4. 学校などを利用したパソコンの利用促進
5. パソコン講習会の開催
6. 児童・生徒のパソコン教育の充実
7. 各種手続き等役場に行かなくてもあるいは簡単に出来るようなシステムの設置
8. コンピュータや情報活用に詳しい人材育成の強化
9. 特にすすめる必要はない
10. 携帯電話（iモード）を利用した情報の提供
11. その他

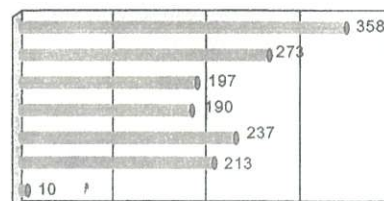


- ① 住民に役立つ情報や意見を述べるようなホームページの開設 18%
- ② 各種手続き等役場に行かなくてもあるいは簡単に出来るようなシステムの設置 14%
- ③ パソコン講習会の開催 11%

### (問4)

町からの情報提供やご自身がほしいと思うときがある町の情報にはどんなものがあると思いますか？（複数回答可）

1. 防災無線をもっと活用し、詳しい情報を流してほしい
2. 税や保険料、使用料などの仕組みや内容がわかりやすく知りたい
3. 町の条例や議会の様子など詳しく知りたい
4. 役場での仕事の内容やどこに行けば手続きが出来るなど明確に知りたい
5. 気象情報や気象警報など災害時や生活に役立つ情報を詳しく知りたい
6. 町の事業や計画を詳しく知りたい
7. その他



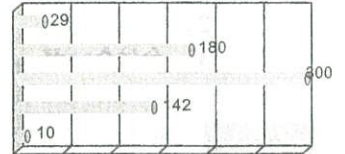
- ① 防災無線をもっと活用し、詳しい情報を流してほしい 24%
- ② 税や保険料、使用料などの仕組みや内容がわかりやすく知りたい 18%
- ③ 気象情報や気象警報など災害時や生活に役立つ情報を詳しく知りたい 16%

## V 防災対策について

### (問1)

ご家庭などで、いざという時のために話し合ったこと、あるいは準備しているものはありますか？

1. 以前話し合っ、家族でのルールや教育ができています。
2. 話し合ったことはないが、非常時の持ち出し物などは確認している。
3. 家族それぞれが、なんとなく意識はしている
4. これまでにまったく、防災について意識したことがない
5. その他

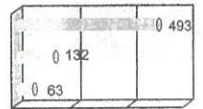


- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ① 家族それぞれが、なんとなく意識はしている           | 45% |
| ② 話し合ったことはないが、非常時の持ち出し物などは確認している | 27% |
| ③ これまでにまったく、防災について意識したことがない      | 21% |

### (問2)

ご自分の地区で町が指定している避難場所をご存知ですか？

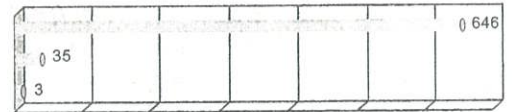
- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| 1. 知っている                         | 72% |
| 2. 知らない                          | 19% |
| 3. 指定されている場所は知らないが、自分なりに場所を決めている | 9%  |



### (問3)

災害があった場合、地域（自治会など）で協力できる体制や仕組みづくりが必要だと思いますか？

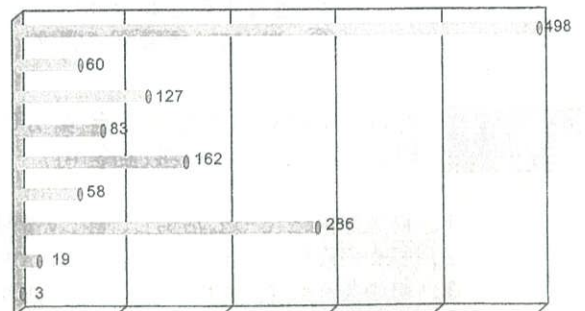
- |            |     |
|------------|-----|
| 1. 必要だと思う  | 94% |
| 2. 特に必要はない | 5%  |
| 3. その他     | 1%  |



### (問4)

町が行う防災対策として何を望みますか？（次の中から2つまで選んでください）

1. 迅速かつ的確な情報提供
2. 大規模な災害を想定した住民訓練の実施
3. 住民意識の強化
4. 役場職員の体制の強化
5. 自治会組織などの体制強化
6. 町内ボランティアの組織づくり
7. 災害危険箇所や避難場所の明確な場所のPR
8. 特にない
9. その他



- |                        |     |
|------------------------|-----|
| ① 迅速かつ的確な情報提供          | 38% |
| ② 災害危険箇所や避難場所の明確な場所のPR | 22% |
| ③ 自治会組織などの体制強化         | 12% |

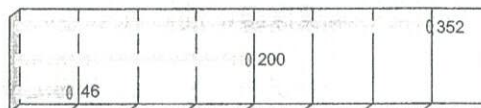


## I 町道民税について

(問1)

現在の町道民税が、生活上負担と感じますか？

- |         |     |
|---------|-----|
| 1. 感じてる | 59% |
| 2. 感じない | 33% |
| 3. その他  | 8%  |

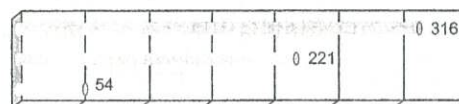


## II 固定資産税について

(問1)

現在の固定資産税が、生活上負担と感じますか？

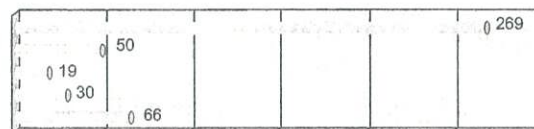
- |         |     |
|---------|-----|
| 4. 感じてる | 54% |
| 2. 感じない | 37% |
| 3. その他  | 9%  |



(問2)

資産税を納付されている方にお伺いします。あなたは、ご自身又は家族の固定資産（土地・家屋）を把握していますか？

1. すべて把握している。(本人又は家族で登記済み。)
2. 把握しているが、一部未登記のものもある。
3. 把握しているが、登記しているかどうかわからない。
4. 一部しか把握していない。
5. よくわからない。



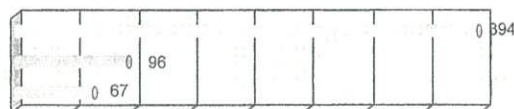
- |                            |     |
|----------------------------|-----|
| ① すべて把握している。(本人又は家族で登記済み。) | 40% |
| ② よくわからない。                 | 10% |
| ③ 把握しているが、一部未登記のものもある。     | 7%  |

## III 国保税について

(問1)

現在の国保税が、生活上負担と感じますか？

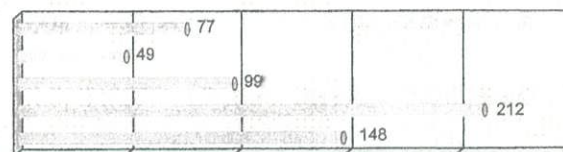
- |         |     |
|---------|-----|
| 1. 感じてる | 71% |
| 2. 感じない | 17% |
| 3. その他  | 12% |



(問2)

国保税の税率や仕組みについてお伺いします。

1. すべて理解している。
2. 税率のみ理解している。
3. 仕組みのみ理解している。
4. 聞いてみたことは有るが、よくわからない。
5. よくわからない



- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| ① 聞いてみたことはあるが、よくわからない | 36% |
| ② よくわからない             | 25% |
| ③ 仕組みのみ理解している         | 17% |

## VI 新しい税について

### (問1)

地方分権ということから、各地で新税の導入が話題となっておりますが、当町においても将来的に導入するとすれば、どのようなものがあると思われますか。例：利尻島の自然や環境保護に使われるもの。(環境税)

※アンケートの回答にあった本文をそのまま掲載しています。

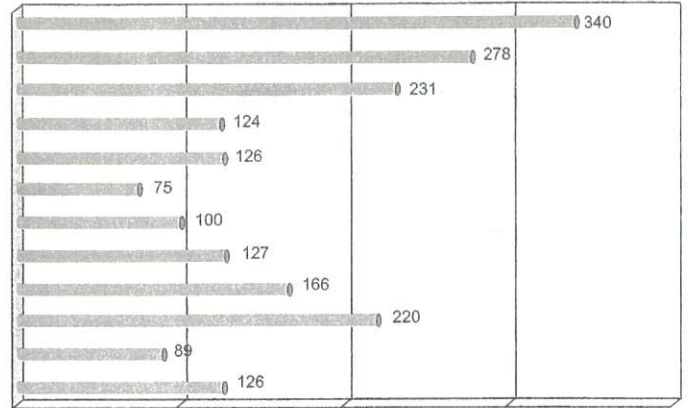
- ▽ 何事も基本となることは生産が主力。新税を導入して環境整備しても、町自体に何の益もないなら賛成出来ない。(もう少し具体的な説明がほしい)
- ▽ 地方分権＝新税という考え方は間違っている。地方交付税をもっと有効に町で仕分けして必要とされる部分に配分することが重要。
- ▽ 来島する観光客に課す「観光税」もしくは「入島税」、観光業者に課す「観光事業税」用途としては、新観光ルート開発、既存観光ルート整備、Ⅱの問2の3等の実現、観光客向けのイベント等の財源にする。当町の財政では将来的には観光部内への財源確保は困難だろうと思う。しかし観光産業を堅持するには観光客への現実的な配慮は絶対必要条件であると思います。従って将来的観点からも受益者負担的な形で1人10円～50円程度の新税を導入出来ないか？
- ▽ 飼猫に対して税を課すべきと思う。余りにも放飼が多く目に余る現状だ。責任有る飼い方を知るためにも必要だと思う。
- ▽ 観光道路(町道の有料化) 海をもっときれいにするためのもの
- ▽ 森林整備に使われるもの(環境税、炭素税)・・・森林所有者が高齢化するとともに不在町所有者が多い現状、伐採等の必要な整備が進まず、風害等の災害が発生する可能性が高いから。観光にとっても好ましくない事態である。
- ▽ 島全体が国定公園なので利用料などの名目で観光客1人あたり100円程度(負担と感しない程度の金額)をいただく。住民も年間100円程度(1戸につき)納める。そしてそれを本当に環境保全に役立て、かつガイドさんなどにPRしてもらい、払ってよかったという気持ちをもって帰ってもらう。(もちろん住民にも折にふれ何に使ったか報告)→集金のしかたに工夫が必要ですね。旅行会社のツアー客なら、その料金に組み入れてもらえば良いのですが、個人で来る方、年に何度か来る方の集金について、もしくはそのせいで足が遠のく事にならない工夫など。
- ▽ 1、入山税(登山税)環境整備に。2、空港税(使用料的に航空会社等援助に使用する)。3、出港税(島民はパス見せれば免税)
- ▽ ゴミの分別や、リサイクル等に必要と思われるもの。学童保育や教育に必要なものを充実させるもの。
- ▽ 公平な税負担による財源の確保。高齢者の適切な負担。
- ▽ 環境税(利尻山登山者に山の自然を保つための必要な費用を負担してもらう。外国と同じくトイレを有料化するなど山小屋を整備する)
- ▽ 登山税→登山者に入山料として徴収する(山の汚れをきれいにしたり、山小屋の整備)
- ▽ 通行税→道路の補修や新設のために使う(車や歩行者等道路を利用する人にかける)
- ▽ 施設利用税→公共施設(町営の)の利用者にかける(施設の維持、管理のため)
- ▽ 産業廃棄物・一般廃棄物に関する税、環境破壊税。ゴミ投棄、車投棄、ゴミ処理に使う。
- ▽ 島外からの出展業者に対する税

# I 検診事業について

## (問1)

現在、町で行っている検診事業であなたが今後も受けたいものはどれですか？（複数回答可）

1. 胃がん検診
2. 肺がん検診
3. 大腸がん検診
4. 乳がん検診
5. 子宮がん検診
6. 喉頭がん検診
7. 骨粗鬆症検診
8. 結核検診
9. 眼科検診
10. ミニドック（基本健康診査）
11. 職域・営業者検診
12. 勤医協検診

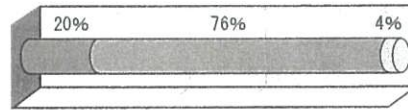


- |          |     |
|----------|-----|
| ① 胃がん検診  | 17% |
| ② 肺がん検診  | 14% |
| ③ 大腸がん検診 | 11% |

## (問2)

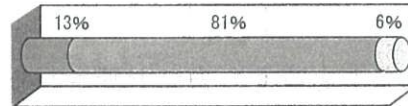
検診料金をどのように思いますか？

胃がん検診 2,000円



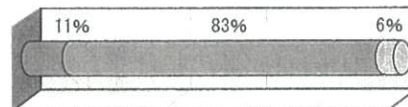
■ 高い  
□ 普通  
□ 安い

X線撮影 1,200円



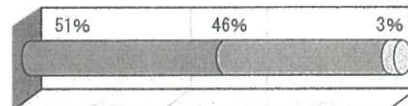
■ 高い  
□ 普通  
□ 安い

喀痰検査 1,000円



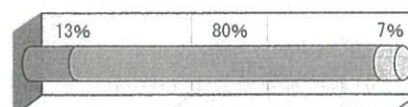
■ 高い  
□ 普通  
□ 安い

胸部CT撮影 8,000円



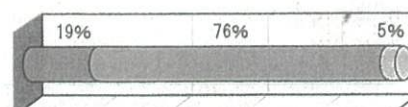
■ 高い  
□ 普通  
□ 安い

大腸がん検診 1,500円



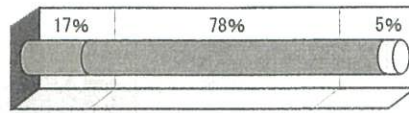
■ 高い  
□ 普通  
□ 安い

触診・視診 1,500円



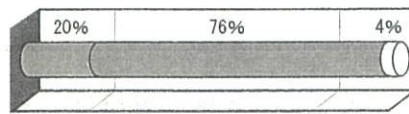
■ 高い  
□ 普通  
□ 安い

マンモグラフィ検査 1,800円



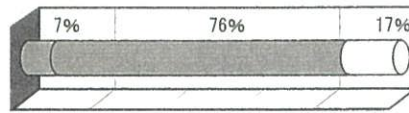
高い  
 普通  
 安い

細胞診検査 2,000円



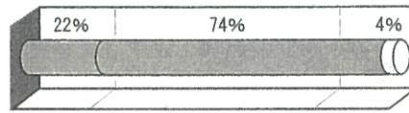
高い  
 普通  
 安い

超音波検査 500円



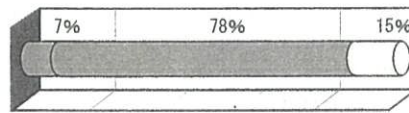
高い  
 普通  
 安い

骨粗鬆症検診 1,500円



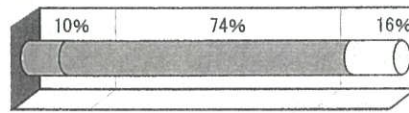
高い  
 普通  
 安い

眼科検診 700円



高い  
 普通  
 安い

ミニドック 2,000円



高い  
 普通  
 安い

**(問3)** 各検診の際、検診会場まで送迎バスがあったら利用しますか？

- 1. 利用する 50%
- 2. 利用しない 50%

**(問4)** 現在、町で行っている検診事業のほかに受診したい検診やぜひ町でやってほしい検診はありますか？

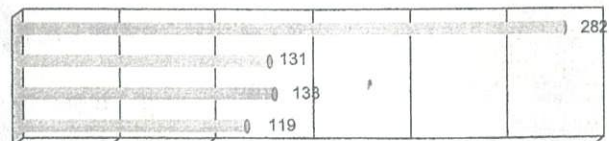
- 1. ある 82%
- 2. ない 18%

**(問5)** 問4で「ある」と答えた方にお聞きします。その検診は何ですか？（いくつでもお書き下さい） 例ー前立腺がん検診 等

- 整形外科
- 脳ドック
- 肛門科
- 脳波検診
- 歯科検診
- 泌尿器科
- アレルギー検査
- 頭部CT
- MRI（磁気共鳴診断）
- 皮膚科

**(問6)** 過去1年以内に何らかの検診を受診しましたか？

- 1. 町で実施している検診を受診した
- 2. 島内の医療機関で受診した
- 3. 島外の医療機関で受診した
- 4. 受診していない



- ① 町で実施している検診を受診した 42%
- ② 島外の医療機関で受診した 20%
- ③ 受診していない 20%

## Ⅱ 予防接種について

(問1)

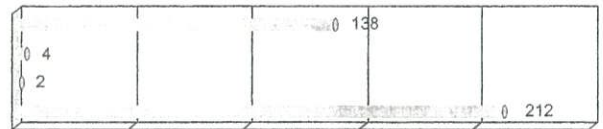
町でインフルエンザ予防接種を実施した場合、接種を希望しますか？(接種料金は個人負担)

1. 希望する 56%
2. 希望しない 44%

(問2)

問1で「希望する」と答えた方にお聞きします。接種料金は個人負担となりますが、1回の金額がいくらまでであれば接種されますか？

1. 3,000円以上4,000円未満
2. 4,000円以上5,000円未満
3. 5,000円以上6,000円未満
4. 3,000円以下でなければ接種しない



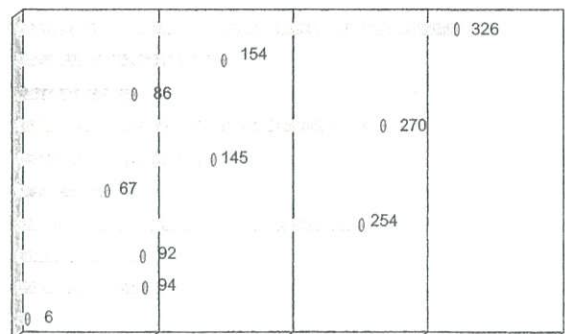
- ① 3,000円以下でなければ接種しない 60%
- ② 3,000円以上4,000円未満 39%
- ③ 4,000円以上5,000円未満 1%

## Ⅲ 保健事業・保健活動について

(問1)

町では様々な保健事業・保健活動を行っておりますが、今後どんな事業や活動を強化して欲しいと思いますか？(次の中から3つまで選んでください)

1. 検診事業
2. 予防接種
3. 機能訓練
4. 健康相談・健康指導・健康教育
5. 栄養相談・栄養、運動指導・栄養、運動教育
6. 育児相談・育児指導・育児教育
7. 介護相談・介護指導・介護教育
8. 個別訪問指導
9. 講演会・研修会の開催
10. その他

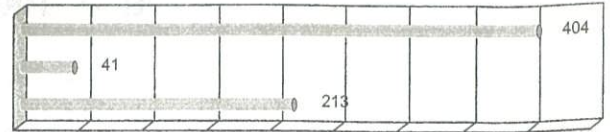


- ① 検診事業 22%
- ② 健康相談・健康指導・健康教育 18%
- ③ 介護相談・介護指導・介護教育 17%

**(問2)**

今後、子供の遊び場・高齢者の生きがい広場など多目的に保健センターを開放したほうが良いと思いますか？

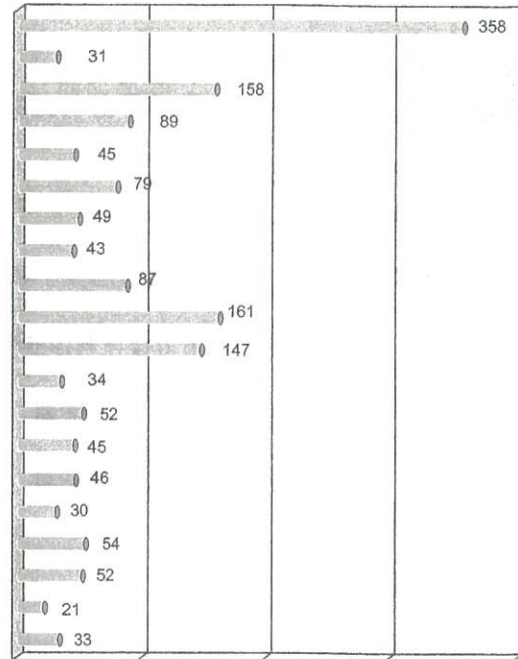
- 1. 開放したほうが良い 61%
- 2. 開放しなくてもいい 6%
- 3. どちらでもいい 33%



**(問3)**

現在、あなたが興味のある（もっと知りたい）ことは何ですか？（次の中から3つまで選んでください）

- 1. 生活習慣病（脳血管疾患・がん・糖尿病）
- 2. 結核
- 3. 高血圧
- 4. 高脂血症
- 5. 貧血
- 6. 喫煙・禁煙
- 7. アルコール
- 8. 歯周疾患
- 9. 骨粗鬆症
- 10. 介護
- 11. 痴呆
- 12. 閉じこもり
- 13. 寝たきり
- 14. 難病・特定疾患
- 15. 精神保健・精神障害
- 16. 育児・虐待
- 17. 薬剤・薬物
- 18. 検診事業
- 19. 予防接種
- 20. 機能訓練



- ① 生活習慣病（脳血管疾患・がん・糖尿病） 22%
- ② 介護 10%
- ③ 高血圧 10%

## IV 将来の福祉について

**(問1)** 安心して老後を迎えるためには何が必要だとお考えになりますか？

※アンケートの回答にあった本文をそのまま掲載しています。

- ▽ 一人暮らしになっても、安心して過ごせる福祉施設、例えば秀峰園の様なところ。それと完備した病院等、必要と思います。
- ▽ 町のバックアップ（デイサービス・訪問看護等の看護の補助）
- ▽ 人間、共通して考える事は自分が介護が必要になった時の事だろうと思います。家族の介護が不可能になった時は完備された福祉施設と、そこで働く職員のモラルの一層の向上と技術の徹底修得が必要だと思います。
- ▽ 高齢者でも働ける場
- ▽ 第一は健康。第二は生活に余裕有る事（経済的）。第三は出来るなら他人のお世話になりたくない。
- ▽ 福祉にたずさわる人々のいろんな面での（技術・体制）向上心
- ▽ 秀峰園、老健等の内容充実（拡大）
- ▽ 何かあった際にすぐ対応してもらえるような、情報体制の整備
- ▽ 年金額の拡大（増額）、高齢者の仕事（週3日でも）
- ▽ 入れ物（施設）等をつくるだけでなく、生きがい、働きがい、やって楽しいと思えるメニュー作りや、そのサポート。  
（例：生きがい農園）
- ▽ ホームヘルパーの増員、老人ホーム、家をバリアフリーにする為の貸し付け制度、一人暮らしの老人など緊急時、プザー1つでかけつけてくれるようなチームがあれば良いと思う。
- ▽ 老人だけで住んでいるような所では、無料配線（回線）の電話又はインターホンみたいなものが設置してあり、（毎日大変なことではありますが）呼びかけてもらう、何か困った時、聞きたい事、又は介護者側の相談など受けやすくなるのでは。
- ▽ 町の施設整備はほぼ整備されたと思う。今後はこれらの施設の維持管理費用が多額になると思われるので、施設利用者から充分の費用を徴収することが必要と思う。老人医療費等も個人負担をもっと徴収すべき。
- ▽ 様々な施設が低料金できれば無料で利用できること
- ▽ 介護制度の充実が必要だが、その前に介護等の労働力、若い世代の人々をいかに確保するかという広い視野での政策が必要だと思う。
- ▽ 若い人が利尻に戻って働けるように働く場所の充実が必要と思う。安心して過ごす事が出来るように医療機関の充実が必要だと思う。
- ▽ お年寄りたちが動きやすい簡易な作業、年寄りの知恵を生かした作業等生きがいのある事を考えていくべきだと思います。老人クラブを主体でも良いし、クラブに入っていない人でも気楽に参加出来るような方法で是非考えていく必要があると思います。

- ▽ 要介護者だけの介護サービスばかりでなく、自立している独居老人や老人世帯の福祉サービスの充実。(例：除雪、食事の宅配サービス、老人だけではなく無理な作業の補助など、ボランティアだけでなく有料サービスも含む)
- ▽ 最低限、衣食住の保障、安心できる医療機関に必要なときはいつでも利用できること。相談したり、話し相手になってくれる人が身近にいること。
- ▽ 地域住民の福祉への考え方や姿勢を育てる必要がある。専門家によるきちんとした指導や心の行き届いた介護があると自宅で独居でも生活できるのではないかと。
- ▽ 年金制度の充実。常に新しい情報や設備の整った医療体制。趣味や生きがいを見つけたり、活用できる場の提供。食事や飲酒など日常生活を改善するために、専門知識を持った職員がサポートしてくれる制度。
- ▽ 温泉を利用して湯治ができるようにしてほしい。
- ▽ 今後、少子高齢化が進むにつれ更に人々の減少が進み高齢者の一人暮らしが困難になり安心して老後の生活をするための施設や制度の充実が必要不可欠であると思う。
- ▽ 独居で出来るだけ家にいられるように訪問介護の充実。福祉施設の充実。医療設備の充実。居宅での介護が出来る、家族が安心して介護できる指導、研修。
- ▽ 車イスでも生活出来る住宅があっても良いのでは。住み慣れた家には自分が動ける間は居たいので、老人が集まって会話が出来る、楽しんでいられるような場所がほしい(お茶や、お菓子を持ち寄ってもよい)
- ▽ ローカルテレビなどの時間も取り入れて安心な画面でのふれあいも幸せの1つだと思います。短い夏、長い冬、忙しい島ならではの1年の様子など。
- ▽ 一定の年齢になったら、介護についての知識や技術を持ち、近所同士で援助できる体制が地域の中にできているといい。
- ▽ 厳しい時代ですが、将来年金が貰える事。老後施設等に入所する時、安い金額で入れるようにお願いしたい。
- ▽ 公務員、団体職員等は町民及び漁民の負担のもとに身分制度保障が確立されているが、自営者(漁民)は自立した上での自己責任で成り立っているが、特に漁民は組織的に制度を考えるべきである。
- ▽ お年寄りに対しての親切が欠けている。上が変わらなければ何も変わらないと思う。役場、病院、フェリーターミナルなどに花が足りないような気がします。役場窓口の親切さに疑問を感じています。アンケートを通して様々な問題点を改善してください。

**(問2)** 町(福祉分野)に対してのご意見、ご感想等お気づきの点があればお書きください。

※アンケートの回答にあった本文をそのまま掲載しています。

- ▽ 上記IV問1の解決策としては、言うまでもなく予算が必要条件であるが、職員に対する労働条件を改善する等、働きがいのある職場づくり。反面、職員の研修指導を強化し、安心して介護を受けられる職員づくりや、職員の負担を出来るだけ軽減されるような設備等に予算を投入してほしい。行政側としては福祉予算についても厳しいものがあると思いますが、町としても節減出来るものは極力節減(例えば議会費等)を社会福祉基金とは別に町民の老後のために「福祉積立金」なるものを毎年いくらかでも予算計上出来ないものだろうか?
- ▽ 介護保険に対して一言。税の有り方として徴収また運用は地方自治に委されているように聞いていますが、現在私達町で40歳以上の方が何人でいくらくらいの金が集まりまたどの分野にいくらくらい使われているのか広報で詳しく知りたいとお願い致します。私は現在年金から8,700円妻は7,000円の引落としとなっています。相当な重荷また負担です。
- ▽ 職員の親切さが足りない。不親切である。特に職員の4、5年前位から変わった。



- ▽ 役場の図書室へは行きづらいという印象があります。蔵書数・種類も全然足りなく、古すぎるものも多く読みたいと思わせる魅力にも欠けていると思います。もう少し新鮮な資料を提供して頂ければと思います。おたよりか何か資料の宣伝でもあれば足を運ぶ利用者も増えるのではと思います。
- ▽ りっぶ掲示板などを町内のいくつかに設置して町内のイベント、行政関係など目に入ることが大事
- ▽ 高齢化社会ということでこれから福祉関係の仕事（就業）が多くなりますが、そのために人材を増やすと財政がきつくなりますので、ボランティア等の力に頼ってはどうか（あくまで理想論）。町民（若い人達）の意識が大切になってくる。
- ▽ 町内会単位で、老人のお宅を訪問することで、住民同士のつながりもできます。又、それはボランティアとわりきるだけでなく、それに対するものとして、町から町内会へボランティア料を配分してもよいと思う。
- ▽ 夏は観光客も多く駐車場がないなどの理由で路上駐車が多く、冬も雪が積もったりしてお年寄りにとっても子どもにとっても非常に危険なので安心して歩くことが出来るように駐車場を作るとか道路を広くしてほしい。また信金前の横断歩道のところで歩行者がいても注意しないで走行して行く車があるので安全のためにも何かしてほしい。
- ▽ 子どもと同居している老人は食事会（独居老人老夫婦方が参加）などに招待されず不満があるようです。年老いていると行動範囲が限られてくるので年寄りが集まる場所には行きたいようです。参加者の話を聞くと羨ましそうです。デイサービスセンター、老健、保健センター、いつも利用させてもらっていますが職員の方は親切に対応してくれるのでとても喜んでおります。老人の施設があるのは良い事です。役場前の公園、子ども達の遊び場ができて本当に良かったと思っています。
- ▽ 保健センターで実行している検診事業、日曜日、祭日も行ってほしい。
- ▽ 老人に対しての福祉には力を入れているように思いますが、未来を担う子供のための福祉にはまだまだ配慮が足りないように思います。鳥は観光に支えられ親の多くは夏には子供に手をかけられない状況です。交通の安全、内外の子供の遊ぶ、学ぶ、面倒を見る等の施設、予算の整備の充実を強く望みます。保育施設、学童保育の充実、各町内会の育成部設立、住民による学習会等ぜひ他の市町村の良い部分を取り入れ、子育てに力を入れる利尻富士町になってほしい。
- ▽ 施設等、設備やそこで働く人達の意識、知識、技術の向上があって初めて体を安心して任せられる。また、今後増々老人世帯が増えると考えられるので、役場職員全員が（議員も）福祉に興味を持ち、町民の手本となって自らボランティアするとか、行動に出る。現場を知らずして、よい福祉行政は行なえない。まず上に立つ者が勉強しないと本当に必要なことが見えてこないと思います。
- ▽ 子供の遊び場や広場がほしい。（学童会館）。中学校前の道路など子供たちが歩く道路に外灯があれば良いと思う。利用しやすい図書館やサークル用の部屋
- ▽ 道路の案内板が小さくわかりにくい所があるので大きくわかりやすくしてほしい。各道路の電気の街灯をふやしてほしい。
- ▽ 無線放送が漁業組合のように電話でもきけるようにしてほしい。遠く離れた所で仕事している時、放送が聞こえないときがありますので。
- ▽ 昨年まで共働きで1人仕事を辞めたのだが昨年度の所得で、今年度の住宅料がさほど変わらない金額で1人分の給料で生活しなくてはならないのに、とても生活上苦しくなっています。せめて何割ぐらいかは住宅料を下げてくださいなど考えてほしいです。町道民税も同じです。一身上の都合で1人仕事を辞めざるをえなかったのに、この状況だと、共働きしないと生活できません。
- ▽ 誰でも気軽に利用できる場所、スペース環境等に考慮した複合施設を希望します。
- ▽ 町の職員が昔の職員より声かけが少ない様に感じます。昔のように声かけ運動して下さい。
- ▽ 世相に反映してか利尻の住民もまた個々に生きているという感じが否めない。共同体として深いところでの意味をもう少し考察してもらいたい。

# I 生涯学習について

## (問1)

あなたが、今後も継続して学習したい、又は新しく始めたいと思っていることは何ですか？希望の強い順に選んでください。(5つ以内)

### 【教 養】

- |          |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 外国語   | 2. 外国文学 | 3. 日本文学 | 4. 哲学宗教 |
| 5. 歴史郷土史 | 6. 科学   | 7. 自然   | 8. その他  |

### 【趣味・芸能】

- |             |          |                |          |
|-------------|----------|----------------|----------|
| 9. 琴        | 10. 民謡   | 11. 茶道         | 12. 華道   |
| 13. 詩吟      | 14. 歌謡   | 15. バンド        | 16. 音楽鑑賞 |
| 17. 囲碁・将棋   | 18. 園芸   | 19. 手芸         | 20. 染色   |
| 21. 七宝焼     | 22. 絵画   | 23. 俳句・短歌・詩・川柳 | 24. 郷土芸能 |
| 25. 演劇      | 26. 舞踊   | 27. 陶芸         | 28. 木工   |
| 29. 写真      | 30. ビデオ  | 31. 書道         | 32. 釣り   |
| 33. ドライフラワー | 34. ペン習字 | 35. 料理         | 36. その他  |

### 【スポーツ・健康】

- |           |            |            |            |
|-----------|------------|------------|------------|
| 37. 剣道    | 38. 柔道     | 39. 相撲     | 40. 弓道     |
| 41. 卓球    | 42. ソフトテニス | 43. 硬式テニス  | 44. バドミントン |
| 45. 野球    | 46. ソフトボール | 47. バレーボール | 48. ミニバレー  |
| 49. ゴルフ   | 50. ゲートボール | 51. パークゴルフ | 52. 水泳     |
| 53. ボクシング | 54. エアロビクス | 55. 社交ダンス  | 56. ジャズダンス |
| 57. スキー   | 58. 歩くスキー  | 59. ボウリング  | 60. ラジオ体操  |
| 61. 散歩    | 62. ジョギング  | 63. キャンプ   | 64. 登山     |
| 65. サッカー  | 66. その他    |            |            |

### 【職 業】

- |                            |             |             |            |
|----------------------------|-------------|-------------|------------|
| 67. 農業経営・技術                | 68. 漁業経営・技術 | 69. 経理・簿記   | 70. 接客セールス |
| 71. コンピューター技術(パソコン・ワープロ含む) | 72. 職場の人間関係 | 73. 事務管理    | 74. 土木・建築  |
| 74. 商店経営・診断                | 75. 製図      | 76. 商工業デザイン |            |
| 78. その他職業に関する知識・技術         |             |             |            |

### 【地域活動】

- |           |           |          |            |
|-----------|-----------|----------|------------|
| 79. 手話    | 80. 高齢者問題 | 81. 交通安全 | 82. ボランティア |
| 83. 地域づくり |           |          |            |

### 【社会生活】

- |          |          |            |             |
|----------|----------|------------|-------------|
| 84. 時事問題 | 85. 政治情勢 | 86. 労働問題   | 87. 経済情勢    |
| 88. 環境問題 | 89. 国際理解 | 90. 暮らしと法律 | 91. 資源エネルギー |
| 92. 福祉問題 |          |            |             |

### 【家庭生活】

- |               |              |            |           |
|---------------|--------------|------------|-----------|
| 93. 洋裁        | 94. 和裁       | 95. 編み物    | 96. 着付け   |
| 97. 住宅問題      | 98. テーブルマナー  | 99. 栄養の知識  | 100. 調理   |
| 101. 家計簿      | 102. 家庭医学    | 103. 老後の生活 | 104. 年金   |
| 105. 税金       | 106. 保健      | 107. 冠婚葬祭  | 108. 生活改善 |
| 109. 文書手紙の書き方 | 110. 話し方スピーチ |            |           |

### 【家庭教育】

- |                  |                |                 |
|------------------|----------------|-----------------|
| 111. 乳幼児の保育      | 112. 幼児の心理としつけ | 113. 小学生の心理としつけ |
| 114. 中・高校生心理としつけ | 115. こどもの遊び    | 116. 性教育        |
| 117. こどもの進路と指導   | 118. 障害をもつ子の指導 |                 |

- |      |    |
|------|----|
| ① 園芸 | 5% |
| ② 釣り | 4% |
| ③ 自然 | 4% |

**(問2)**

あなたは、どれくらいの割合で本を読みますか？

- 1. 週2冊以上
- 2. 週1冊くらい
- 3. 月3冊くらい
- 4. 月1～2冊くらい
- 5. 年5冊～10冊くらい
- 6. 年1～4冊くらい
- 7. ほとんど読まない

0	39		
0	57		
0	66		
0	33	0	111
0	82		
0			176

- ① ほとんど読まない 31%
- ② 月1～2冊くらい 20%
- ③ 年1～4冊くらい 15%

**(問3)**

あなたは、主にどのような種類の本を読みますか？

- 1. 推理小説
- 2. 漫画(単行本)
- 3. 週刊誌
- 4. 文学
- 5. 哲学、宗教
- 6. 歴史、地理
- 7. 自然科学
- 8. 工学、技術
- 9. 産業
- 10. 芸術
- 11. 語学
- 12. 家事、育児
- 13. 雑誌
- 14. 社会、政治、経済
- 15. 趣味
- 16. 教育
- 17. その他

			0	153	
		0	105		
				0	219
	0	59			
	0	28			
	0	53			
	0	35			
	0	19			
	0	23			
	0	19			
	0	7			
	0	34			
				0	235
		0	70		
				0	164
	0	38			
	0	20			

- ① 雑誌 18%
- ② 週刊誌 17%
- ③ 趣味 13%

**(問4)**

あなたは、どのような図書設備だと利用したいと思いますか？

- 1. 豊富な種類と数多くの本が備えられている図書館
- 2. 既存の施設を利用し、環境に配慮された図書室
- 3. 役場のロビーなどスペースを活用した解放的な図書室
- 4. 車で町内を巡回する移動図書館
- 5. 特に関心はない
- 6. その他

			0	159	
		0	53		
			0	76	
	0	32			
				0	161
	0	15			

- ① 特に関心はない 32%
- ② 豊富な種類と数多くの本が備えられている図書館 32%
- ③ 役場のロビーなどスペースを活用した解放的な図書室 15%

戸籍の窓口

★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	住所
小向 映瑠	4.3	秀 樹	栄町
菱田 さくら	5.8	広 行	富士野
前田 優歩	5.28	匡	栄町
西村 騰	5.28	貴 文	本町
関 透子	5.31	光 徳	栄町
山本 奈央	6.9	剛	栄町
谷口 椎奈	6.19	正 敏	栄町

☆ご結婚おめでとうございます☆

4.29	神 秀之 (鬼 脇)	瀬川 友子 (鬼 脇)
5.3	洪木 将利 (富士野)	永瀬理恵子 (旭川市)

■おくやみ申し上げます■

氏名	月日	年齢	住所
俵谷 コト	3.25	93歳	(鬼 脇)
石川 つよ子	4.2	71歳	(沼 浦)
若木 ツマ	4.5	71歳	(栄 町)
長岡 俊彦	4.6	83歳	(湾 内)
川端 謙吉	4.24	78歳	(本 町)
山本 マヨ	5.17	93歳	(鬼 脇)
山野寺時江	5.17	69歳	(富士岬)
飯澤興三郎	5.27	95歳	(鬼 脇)
谷口ミツエ	6.10	84歳	(清 川)
笹沼 郁夫	6.20	71歳	(湾 内)
田澤ハツエ	6.23	92歳	(栄 町)
二階堂光雄	6.25	83歳	(湾 内)

- ▽ 妙泰寺寒修行一同
- ▽ 社会福祉事業基金
- ▽ 妙泰寺寒修行一同
- ▽ 秀峰園振興資金
- ▽ 妙泰寺寒修行一同
- ▽ 杓形 和島 正美
- ▽ 杓形 嶋崎 勇夫
- ▽ 老人保健施設振興
- ▽ 本町 川端 一彦
- ▽ 愛情銀行へ
- ▽ 利尻富士町商工会青年部
- ▽ 福祉基金として
- ▽ 京都市役所総務部
- ▽ 旭川市 高橋 キク
- ▽ 旭川市 高田 和明
- ▽ 旭川市 砂山 弘行
- ▽ 稚内市 松林 英次
- ▽ 礼文町 佐々木清二
- ▽ 仙法志 中谷 貞治
- ▽ 杓形 田原 滝雄
- ▽ 杓形 和島 正実
- ▽ 杓形 石岡 孝
- ▽ 杓形 笹本 チエ
- ▽ 大磯 常名 恒雄
- ▽ 大磯 本間 治安
- ▽ 老人保健施設へ
- ▽ コールひなげしの会
- ▽ 駕泊漁協組合婦人部
- ▽ 利尻富士町商工会女性部
- ▽ 札幌市 仲村多美子
- ▽ 札幌市 仲村 政子
- ▽ 清川 浜辺 政毅
- ▽ 鬼脇 若林 吉武
- ▽ 鬼脇 川合 幸枝
- ▽ 鬼脇 成田 正雄
- ▽ 鬼脇 潮流会
- ▽ 雄忠志内 高橋久美子
- ▽ 雄忠志内 高橋 幹夫

善意ありがとうございます  
ございます

- ▽ 栄町 神成 一夫
- ▽ 栄町 工藤 弘子
- ▽ 栄町 吉田 満
- ▽ 栄町 吉田 稔
- ▽ 栄町 島田 初枝
- ▽ 栄町 神成 留美
- ▽ 本町 戸嶋トモ子
- ▽ 本町 吉野製麺
- ▽ 本町 櫻庭 洋子
- ▽ 野塚 秋元 実
- ▽ 鬼脇 若林 朝美
- ▽ 杓形 岩島 計彦
- ▽ 旭川市 河端 裕一
- ▽ 秀峰園へ
- ▽ 大磯 広田 収
- ▽ 本泊 嶋中 敦子
- ▽ 富士岬自治会婦人部
- ▽ 栄町 若木 守人
- ▽ 本町 吉野 訓子
- ▽ 本町 木戸 彰
- ▽ 本町自治会婦人部
- ▽ 港町 田代 健一
- ▽ 港町 佐藤ミチエ
- ▽ 港町 加路 静雄
- ▽ 港町 笹井 健次
- ▽ 港町 工藤 ヒロ
- ▽ 港町 旅館雪国
- ▽ 港町 高橋 秀昭
- ▽ 湾内 岩木 宏省
- ▽ 湾内 漁協婦人部
- ▽ 野塚 大山 文男
- ▽ 野塚 中畑 一二
- ▽ 雄忠志内 入井 暹郎
- ▽ 練泊 吉田 秀雄
- ▽ 練泊 佐々木友芳
- ▽ 旭浜 飯澤 晋
- ▽ 石崎 野上 文三
- ▽ 清川 今井 秀夫
- ▽ 鬼脇 藤井孝二郎
- ▽ 鬼脇 山本 恒
- ▽ 鬼脇 川村 敏広
- ▽ 鬼脇 若木 静子
- ▽ 鬼脇 熊中 彰治
- ▽ 鬼脇 木村 力男
- ▽ 鬼脇 長谷川 静子
- ▽ 鬼脇 西谷 渉
- ▽ 鬼脇 潮流会
- ▽ 金崎 西谷 巖
- ▽ 金崎自治会
- ▽ 沼浦 石川 隆一
- ▽ 沼浦 田牧昌次郎
- ▽ 沼浦 工藤 ケイ
- ▽ 沼浦 高木 隆男
- ▽ 南浜 長谷川弘一
- ▽ 南浜 海老名一雄
- ▽ 野中 佐野 徳一
- ▽ 杓形 成田ユウ子
- ▽ 杓形 田村 晴夫
- ▽ 稚内市 渡部 勝男
- ▽ 稚内市 阿部 信悟
- ▽ 江別市 吉岡 勲
- ▽ 石狩市 佐藤 弘子
- ▽ 札幌市 吉岡とし子
- ▽ 札幌市 山野寺利雄
- ▽ 札幌市 仲村 政子
- ▽ 札幌市 仲村多美子
- ▽ 利尻富士町商工会女性部
- ▽ 駕泊漁協組合婦人部
- ▽ コールひなげしの会
- ▽ 老人保健施設へ
- ▽ 大磯 本間 治安
- ▽ 大磯 常名 恒雄
- ▽ 大磯 笹本 チエ
- ▽ 本泊 上田ヨシエ
- ▽ 本泊 雨森 豊
- ▽ 栄町 車谷 幹夫
- ▽ 栄町 後藤美代子
- ▽ 本町 川端 一彦
- ▽ 本町 松林 英次
- ▽ 本町自治会婦人部
- ▽ 港町 大関 博
- ▽ 港町 工藤 ヒロ
- ▽ 港町 高橋 秀昭
- ▽ 湾内 安田 豊
- ▽ 湾内 葛西タマエ
- ▽ 野塚 葛西タマエ

編集後記

今年は何年になく冷夏の年となりました。7、8月はほとんど気温が上がらず雨天の日が続き、漁業関係者の皆様は苦労されたのではないのでしょうか。  
さて早いもので季節は秋へと移り変わり、日没も日に日に早くなります。9月21日からは秋の全国交通安全運動が展開されます。本町の交通事故死ゼロ1,000日が目前となっています。車輛を運転される方は期間中はもちろん、日頃から安全運転を心がけ、事故のない明るい町にしましょう。

人口のうごき (平成14年7月末)

	男	女	計	世帯
駕泊	1,086	1,193	2,279	910
鬼脇	507	544	1,051	511
計	1,593	1,737	3,330	1,421
昨年	△102	△96	△198	△17